

て赤字が発生したという関係もございます。次の右頁では普通会計の年度総合計画表でございますが、一番左側が三十九年度の見込額でございますが、その右が確定日に属する年度、いわゆる四十年度に属するわけでありまして、十頁に示されては四十年、四十二年、四十三年の四カ年計画を数字的に算出したものでございます。上二頁が歳出関係で、三十九年の決算見込額と、四十年、四十二年、四十三年の資料でございます。これについて説明申し上げますと、昭和三十九年度の決算見込額を各所で昭和三十九年度会計の未納額が行なわれるわけでありまして、この数字の誤差は大きいまいと思われざるをありますが、この未決確定はあります。その中で、承に述べたように、三番の国有施設等所在市町村助成交付金、俗にわが基交付金関係でございます。地方交付税は普通交付税と特別交付税に別れております。以下歳入合計といはしめて、還付金、三十九年三十七万九千円。この中、牧野線というものが二億七千六百六十二万

九十日という数字になすわけでありす。次の四十年で以降の関係を大  
 体概算等について四十五年度までには予想的に算出したものであります。  
 この中で概算にたいしはつきり決つてゐるものは延ばしであります。  
 たとえば固定資産税にたいしはもと新築家屋の三カ年分二分のとい  
 う事もございすすがしかし四十二年には全額徴収をさすといふものは  
 後年度にたいしはふたふた延ばしてゐるわけでありす。と申しますのは、四  
 十年度の値上げ等も考へるわけでありす。裁入裁出にたいしは現  
 在のままで算出がなされたいものでありす。従つて現在の収入も  
 そのままで延ばしてたいと申すわけでありす。なほ概算と地方公債税につて  
 たいは緊縮を運けたいがあり。概算が、ふたば地方交付税が減るとい  
 うの原則でありますので、これにともなひ削減を願ひたいと思ひます。  
 四十年度の関係にたいしは総額六億二千四百五十万五千円の中、一般財  
 源が二億七千八百六十万二千円といふ事になります。特定財源が多い

という事は防音工事の国庫補助が主でございす。以下四十三年度までの  
の裁入の中一級財源については億二千四百六十万三千円とほとんど変りな  
いという事でございす。次に土貢の裁出でございす。がここでも昭和  
三十九年度決算の関係が出入りするわけでありす。赤字が裁入裁出差引  
で九百二十五万六千円と入るわけ。次が四年度以降の裁出の状況でこ  
こは千二百一十億の最大の目標である赤字解消という事を原則でや  
つていす。と均等割の償還という事になるわけでありす。が初年  
度は必ずしもそういふ事はございす。せんが、四年度の赤字解消額とい  
はれましては千百万円を見込んである次第でございす。四十年  
度には千五百五十万五千五百五十五万、四十二年度で三千万、四十三年度で残額の  
二千五百五十万六千円という計画を赤字を償還するといふ事でござい  
す。四十年から先程も所長から述べられたように、適用を受  
けまして起債補助金をあつた建設関係をやり、特に防音工事関

係ですが、この中には別添参考資料として五十年計画書を  
お渡ししてありますのでその時に御説明申し上げたいと存じす。同  
題は裁出にたいしては人件費、物費、維持補修費、援助費等が大きな関  
係がもたれるわけ。この資料については、いろいろ関係が出入り然るに  
取扱い以上にとりかゝります。次に土貢の被課税の状況でこ  
こは千二百一十億と四十年度に別れいあります。福生町におきま  
しては標準税率を個人については百円、法人については八百円、超過課  
税と算出されてあります。これは相当大から課税されてあります。西多  
戸郡ではほとんどこの方法を課税され、三十九年度の更替超過が百十  
一万二千円となつてあります。四十年度には、いよいよその数字を計算  
されてあります。十四頁の人件費の状況でございす。が、こゝに特別職  
と議員の給与報酬等の状況でございす。千九百九十九年、正副議長、議員  
の給与報酬でございす。期末手当については、正副議長と改正したい

額が書かれてあるわけでありす。次が職員給の状況でこれについては  
は、吏員とそれ以外の区別がありますが、この吏員というのは現在規則化して  
いるのが主事以上が吏員でそれ以外のものはその他としてあります。昭和  
四年度と三年年度の対比で比較額で基本給の外の手当と一人当りの  
本俸月額が算出されているのであります。次が教育関係の職員で、これ  
は、学校警備員、給食作業員等を対象として出されていられるわけ  
であります。一般職員については百四十九名、教育関係が三十名計百七  
十九名をもつておられる数字が出ています。その他の手当とい  
うのは、特殊勤務手当、管理職手当というものを算出したもので、宿直手当と  
か、時間外勤務手当、期末勤勉手当等の率が下に出ていられるわけでありす。  
次の十五頁、十六頁は現在福生町が採用している職員の給与表でござ  
います。附表の一は、いわゆる一般職で、等級から四等まで別れてあり  
ます。これは説明をするまでもなく、その職務に応じてその給与表で職

員数というのは現在ここに掲げてあります。号体の職員数でございま  
す。四等級以下に区別すると先程申し上げました。その他の職員が多  
いわけがあります。附表二の方は、いわゆる単独職に適用する俸給表でござ  
います。これは三等級に別れてあります。単独勤務者には、これは現在二等級  
の該当者があります。十七頁の表は、準職員の俸給表でござい、これは、  
各等級別に別れてあります。で、通しの号体になつてあります。現在該当  
者は三名でございます。三十四頁昭和四十三年度にたいし退職者を二名望んで  
あります。これは臨時職員でござい、これは最終の四十三年度には百七十七  
名にしようというものでございす。次の二十頁の表は、公債費の状況で  
ござい、これは昭和三十一年度現在の調べで、一般補助事業、義務施設事  
業、一般監督事業を表わしたものであります。これは三十一年度の地方  
債、元利償還金でございす。附表一の現債額の状況で、利率及び償  
れ先の表でございす。次に附表二の特殊入金金の状況でござい、これは

これは四十年四月はなす米して一時借入金は一億二千万、五月も同額を借入れ、いふといふ関係でございませう。二頁の附表三は一時借入金の借入利率別の現在高でございませう。一億二千万を二分六厘で借入れ、いふといふ関係でございませう。日米にレ、二銭一厘となるわけでありませう。次の可処分資産の状況については二、三普通財産の処分可能なものとして表にしたいわけでありませう。現在考えられるのは熊川の南にありませう。物理地理場が千七百七十六坪、それから現在使用しありませう。農地地理場が千七百七十六坪、行政財産からはずされるわけ、これを考えろと課税の資産になるのではなからうか、いふ事で計算し、合計いたしませう。三千九百五十坪、坪当りの単価は五十円として算出したものでございませう。実際の価格はどの程度になるか、いふ事は私どもにいたしませう。検討しありませう。五十円程度ならば、いふ事で計上いたした次第でございませう。参考は有価証券がございませう。これは三十九年度に於

た米して電話債券等がありませう。三十九年度中に処分いたしませう。この有価証券は全然ございませう。積立金等については職員退職手当特別負担金として現行条例で九十五万円、用品調達基金、これは四十年から積立、いふものが百万円ありませう。その外にも積立金がありませう。が目的が千七百七十六坪あり、関係がないうでございませう。次期でございませう。二、三、二十四、二十五、二十六頁でございませう。が昭和三十一年度になす米して、普通建設事業、単独事業等がどのように行なわれたのか、いふ表でございませう。予算額と決算額、財産の状況、いふものが二の表に出るわけでありませう。細部については省略させていただきます。今まで申し上げたいものが財政再建中の資料でございませう。次に参考資料になす米して、四十年から四十三年度までの事業計画でございませう。最初の事業といたしませう。これは第一小学校の防音工事でございませう。四十年度になす米して、いふどの程度でございませう。いふ事でございませう。第一小学校の防音工

築工事は四十年度ももつ終るわけでありますので、底六百八〇三坪  
これについての総事業費が六十六万六千九百二十円となるわけですが、この財  
源の内訳については、防衛支出金の五千九百三十七万三千円、地方  
債が二百五十万、一般財源が四百八十二万九千円をもちまして、事業をしよう  
とするものでございます。次に第三小学校の防音改築工事でございますが、  
これが、昭和四十年度も第一期工事で、これが四百五十坪を計画し、総額  
が四千六百七十五万円で、この財源の内訳については、防衛支出金が四  
千二百二十万、起債が四百二十万、一般財源が三百八十万円、次に第一中学校  
、これは仮称という事で、同じく仮称したいと思っておりますが、これが、昭和四  
十年度ももつ終るわけであります。これが九百四十三万四千坪で、総事業  
費が一億三百十六万四千円、この内訳については、防衛支出金が九千三百十七万  
六千円、起債が三百十万円、一般財源が七百八十八万八千円でございます。次に  
仮称ですが、第二中学校の防音改築工事でございます。これは現在

福生病院の上に建設中でございますが、本年度をもつ終るわけであり  
ます。この総事業費が、七千三百六十四万四千円で、防衛補助と文部補助で  
四千六百四十万二千円、起債が二千三百九十万円、一般財源が二千六百六十三万  
と、なるわけですが、以上申し上げたのは、教育関係の事業計画でございますが、ま  
ず、この教育関係の総事業費を上申し上げますと、二億八千六百九十三  
万円という事になるわけであります。この中、一般財源が二千五百五十万  
円、起債が二千二十万、補助金等が一億三千九百九十五万円という事  
になるわけでございます。次に、都市計画、街路整備計画で、いわゆる  
ススス街路の継続事業でございますが、これは、総額六百二十万で、四十年度を  
やうりとするわけであります。次に、消防施設事業で、これは、国庫補助  
をいかに、貯水槽二つを造ろうとするものでござい、ます。次の公園整  
備事業も、継続事業でございますが、これは、岡山関係の事業費、百五十万円、次  
の都市下水路事業、これは、一部事務組合の負担金、百四十万円、基礎外、

水路事業、これは防衛補助等を充て、現在平糶地区が最長の長用によ  
うにかり、清水レイタリー、二五万をもち、レイ事業を進行せよと  
するものでございませう。これには防衛庁の補助を四千万起債を二百  
万、一般財源三百万をもち、工事にとりかかろうとするものでございませ  
う。次に一般財源整備あるいは大村事業関係で、これらの事業を合算  
すと、総事業費は、四十二万八千円とございませう。次のことが  
購入でございませう。すなわち、これは購入済でありませう。三千万の年度  
をもち、購入しよとするものでございませう。昭和四十年で、四百五十  
万円、四十年、四十年で、四百五十万、又、払いものでございませう。次に、有防  
の車庫整備で、これは有防車庫を二棟新設しようとするもので、五十万を  
計画した次第でございませう。次に、小中学校の内部の改修が、現在の小中  
校の内部を改築しようとする事、四百万を計画したわけでございませう。  
その他、雑工事といふ、レイ、五十万円、町営住宅の整備工事といふ、十方

これは、特定財源でも、すなわち、するものでございませう。最後の西多  
反衛五組合の分、税金、これは建設費の分、税金でございませう。経常的  
な分、税金、すなわち、税金の中、税金、レイ、あります。以上が、四十年に、なけ  
る事業計画で、この総額が、三億、七千、四百六十八万三千円、で、この以内の、補  
助、税金、が、二億、七千、九百三十五万円、特定財源、が、一千万円、都の、支出、金、が  
三百六十七万円、起債、が、二千九百三十一万円、一般財源、が、六千、百、六十六万三千円  
といふ、ふたつ、になつて、あります。次に、四十年の、事業計画、であります。が、  
一、小学校関係、等、について、は、継続、工事、ある、いは、第四小学校の、第一期、工事、等  
を見、い、ん、て、みる、わけ、であります。四十年、年度、に、あ、つ、ま、う、は、建設、事業  
費の、総、計、が、一億、八千、九百、九十一万、四千、円、となり、この、内容、について、は、省、略  
さ、す、い、た、だ、さ、す。昭和、四十年、年度の、事業、計画、であります。が、ち、と、計  
正、がある、ので、す、が、事業、件、数、が、二、四、と、三、が、な、つ、て、あります。ので、この、次、に  
三、を、お、さ、す、い、た、だ、さ、す、い、と思、ひ、ます。次に、い、た、し、ます。と、事業、件、数、が

十三年となるわけであり、この総事業費が億四千万あるわけをも  
 十四年度の建設事業を行なうに、この計画でござい、ます、四三年  
 度にたいし、も土中にのぼる建設事業を計画し、なるわけであり、この  
 の総事業費が億五千万、四百四十万、と、り事になるわけであり、す、  
 以上簡明にござい、ます、が、この資料に基づき、おし、説明申し上げ、  
 次第でござい、ます、おし、おし、質疑等、の説明申し上げ、存じます。  
 一議長中西虎蔵君、おはかりにします。本日は、この程度をも、延会し、明  
 六日、一日は、議案調査の、の、休会とし、二日の、早九時から、本会議を開会い  
 ました、い、ます、が、これに、即、開議あり、本、文、人、が、

(質疑なしと存じます)

一議長中西虎蔵君、即、開議なしと、認、め、ます、よ、う、す、う、決、定、い、た、し、ま、し、た、本、日  
 は、これをも、延会いたします。

午後三時四十分

右会議の次第は、書記中西昭利の記載したものであるが、その内容の  
 正確である事を証するため、ここに署名する。

昭和四年五月三十一日

福生町議会議長

中西虎蔵

議員 小堀仁七

議員 細河晋一

議員 村野弘

This image shows a blank, aged, cream-colored page, likely an endpaper or flyleaf from an old book. The page is ruled with vertical blue lines, creating a series of narrow columns. The paper has a slightly textured appearance with some minor creases and discoloration, particularly along the right edge. On the far right, there is a series of small, dark, circular holes, which are characteristic of a book's binding or a hole punch. The overall color is a warm, off-white or light cream.

福財発第 207 号

昭和40年4月27日

殿

監査委員 村 野 喜 平 印

” 岸 茂 印

昭和39年度1、2月分出納検査実施結  
果報告

このことについて、次のとおり報告いたします。

1. 実施日時 昭和40年4月23日  
午前9時30分～15時30分
2. 場 所 福生町役場行政委員会室
3. 出席者 村 野 喜 平 岸 茂
4. 検査対象 (1) 昭和39年度福生町一般会計  
(2) 昭和39年度福生町国民健康保険特別会  
計  
(3) 昭和39年度福生町と畜場特別会計  
(4) 昭和39年度福生町公益質屋特別会計

(5) 昭和39年度福生町福生都市計画土地

面整理事業特別会計

(6) 昭和39年度福生町水道事業特別会計

5. 結 果 関係帳簿及び証書類を審査の結果、適正であることを認める。

6. 参 考 昭和39年度1、2月分歳入歳出現計表

(単位 円)

|         | 12月末有高     | 歳 入        | 歳 出        | 現 在 高      |
|---------|------------|------------|------------|------------|
| 一 般 会 計 | 20,576,644 | 67,593,636 | 60,324,918 | 27,845,362 |
| 国 保 会 計 | 3,302,689  | 5,213,097  | 5,894,190  | 2,621,596  |
| と畜場会計   | △60,352    | 288,616    | 1,271,773  | 1,554,040  |
| 公益質屋会計  | 499,888    | 1,158,127  | 1,407,830  | 250,185    |
| 区画整理会計  | 8,806,794  | 0          | 664,692    | 8,142,102  |
| 小 計     | 33,125,663 | 76,851,025 | 69,563,403 | 40,413,285 |
| 水道事業会計  | 1,292,454  | 7,676,669  | 9,648,642  | 1,095,257  |
| 合 計     | 46,050,212 | 84,527,694 | 79,212,045 | 51,365,861 |